

2020年9月28日

各 位

株式会社八十二銀行

ポジティブ・インパクト・ファイナンスのシンジケートローン参加について

八十二銀行（頭取 湯本 昭一）は、レンゴー株式会社（代表取締役社長 兼 COO 川本 洋祐）を借入人として、三井住友信託銀行株式会社（取締役社長 橋本 勝）がアレンジャーおよびエージェントを務めるシンジケートローンに参加しました。

今回のシンジケートローンは、国連環境計画金融イニシアティブが提唱したポジティブ・インパクト金融原則に即した「ポジティブ・インパクト・ファイナンス（※）」です。

当行は、ポジティブ・インパクト・ファイナンスへの取組みを含め、SDGsに関するお客さまの事業活動を支援するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※ ポジティブ・インパクト・ファイナンス

企業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブな影響とネガティブな影響）を包括的に分析・評価し、当該活動の継続的な支援を目的とした融資であり、企業によるSDGs達成への貢献度合いを評価指標として活用し、情報開示することが最大の特徴です。
なお、今回のシンジケートローンでは三井住友信託銀行株式会社がインパクト評価を実施します。

【シンジケートローンの概要】

契約締結日	2020年9月28日
借入人	レンゴー株式会社 ● レンゴーグループは、製紙・段ボール・紙器・軟包装・重包装・海外の6つのコア事業を中心に、あらゆる産業のすべての包装ニーズをイノベーションする「ゼネラル・パッケージング・インダストリー」=GPI レンゴーとして、“Less is more.” をキーワードとする、より少ない資源で大きな価値を生むパッケージの開発に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献されています
アレンジャー/エージェント	三井住友信託銀行
貸付人	当行ほか15社

以 上